

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
（支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）【大学】
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	名城大学		
設置区分	私立	学校種	大学
都道府県	愛知県	事業期間	令和6年度～令和11年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員
事業計画名	名城大学における高度情報専門人材育成策としての情報工学研究科の設置		

2. 事業概要

理工学研究科情報工学専攻を改組し、情報工学研究科情報工学専攻を新たに設置する。その際、高度なデジタル人材養成の需要に応えるため、**入学定員を30名から45名に増員する**。カリキュラムとしては、**データサイエンス・AIに関する共通科目を新設し**、全員が大学院レベルのAI技術について学べるようにする。「フィジカルコンピューティング」「データエンジニアリング」「ヒューマン・メディア」「ネットワークシステム」の4つの専修分野を設け、AI技術を各専門分野の研究に活用できる体系を構築する。また、入学定員の増加に伴い既存の教育研究設備が手狭になることへの対策として、実験室と実験設備の強化を図る。**AI計算用のサーバを導入するとともに、既存の建物の部屋を活用する形で実験室を整備し**、各専修分野における専門的な研究活動を推進する環境を構築する。

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	理工学研究科	10	10	—	工学関係
		0	0		
	計	10	10	増員数	0
修士	理工学研究科	30	0	R8募集停止	
	情報工学研究科	0	45	R8設置	工学関係
	計	30	45	増員数	15
学士	情報工学部	180	180	-	工学関係
	計	180	180	増員数	0

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前（R6.4.1時点）	25.6%	10.0%	12.5%
増員後	25.6%	14.2%	16.0%
増分	+0.0%	+4.2%	+3.5%

事業計画名	名城大学における高度情報専門人材育成策としての情報工学研究科の設置
-------	-----------------------------------

<改組の特徴・コンセプト>

- 【社会のニーズを踏まえ育成すべきと考える人材】
- 工学領域に限定されず、**多様な分野と連携**し、情報技術を駆使して社会的な問題解決を図れる人材
 - ツールの使用に留まらず、ツールが実行する**処理内容を深く理解**し、**各分野に適用**できる高度な人材

- 【要点】
- 各機関との**連携を容易**にするため、専攻から研究科への組織改編【図1】
 - 入学定員を**1.5倍(15名増)**に拡大
- | | |
|------------------|-------------|
| 理工学研究科
情報工学専攻 | 入学定員
30名 |
|------------------|-------------|



情報工学研究科 情報工学専攻	入学定員 45名
-------------------	-------------
- 社会のニーズに合せR4年度に改組した情報工学部と一貫性を持たせる形に専修分野リニューアル【図2】

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	愛知県名古屋市
増員する情報系組織名（修士）	情報工学研究科 情報工学専攻
入学定員増数及び増員時期（修士）	入学定員：15名 増員時期 令和8年度

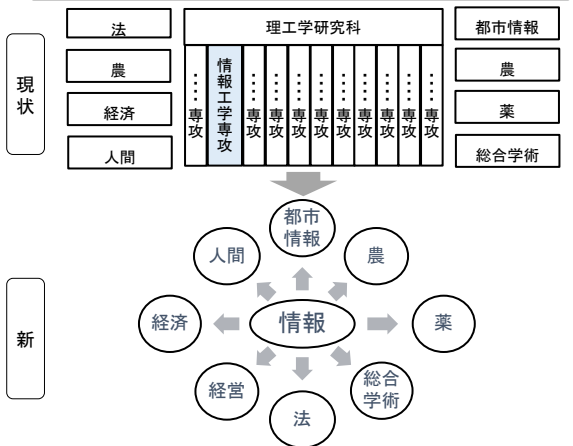
- 全学生**がデータサイエンス・**AIの知識**を得られる体制に【図2】
- 多様な分野との連携**強化

（一例）ヘルスケア分野における情報技術の社会実装

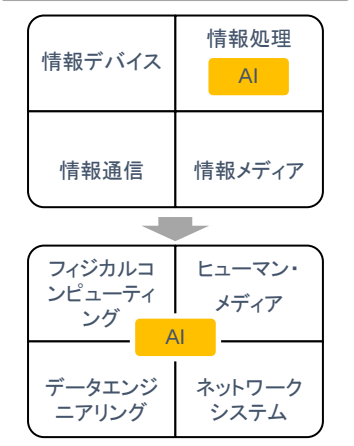
藤田医科大学をはじめとした医療系大学と提携を結び、本学に医療に関する大学間連携拠点（メディカルAI研究センター）を設置し、AI計算サーバを活用したCTやMRI、病理画像などの医用画像データや電子カルテ、薬効の解析などを行う予定である。



【図1】情報工学研究科の設置：
情報技術を本大学内の多様な分野と連携しやすく



【図2】専修分野とAIの関係
AIを「共通の基盤」として位置づけ



<企業・初中段階 等との連携>

- 企業：講演会、インターン(正課授業)、知識・スキル学習型WS、PBL連携授業 等
- 初中段階：大学の活動や情報技術に触れるイベント実施



<学生の確保>

- 下位組織(情報工学部)は**入学定員を1.2倍(30名増)に拡大**(R4年度)
- 志願者数は堅調 志願倍率(志願者数/入学定員)：R5学部 18.2倍 R6大学院 1.8倍
- 理系女子学生向けのイベント開催による、大学院への進学促進
- オンラインを活用した**社会人の学び直し支援体制構築**
- 多様な国からの留学生増を目指し、提携校への広報活動充実